

松葉小学校跡地活用住民アンケート調査

結果報告書（速報版）

1 調査の目的

令和9年3月に閉校となる松葉小学校の跡地活用を通じて、松葉地区がさらに住みやすい・住みたくなるまちとなるよう、跡地活用の検討を進めるにあたっての基礎資料とすることを目的に実施するものです。

2 調査対象者

松葉地区在住の全住民 4,553人 2,235世帯（R7.8.1時点）

3 調査方法と調査期間

発送方法：松葉地区内に全戸配布（配布は自治会等の協力をいただく）

回収方法：WEB回収（Googleフォーム）

書面回収（松葉コミュニティセンターに設置するアンケート回収BOXへの投函）

調査期間：令和7年8月20日（水）～令和7年10月19日（日）

4 WEB回収と書面回収の別

WEB or 書面	回収数	WEB・書面の回収比率
WEB回答	387件	55.0%
書面回答	317件	45.0%
合計	704件	

5 回収結果

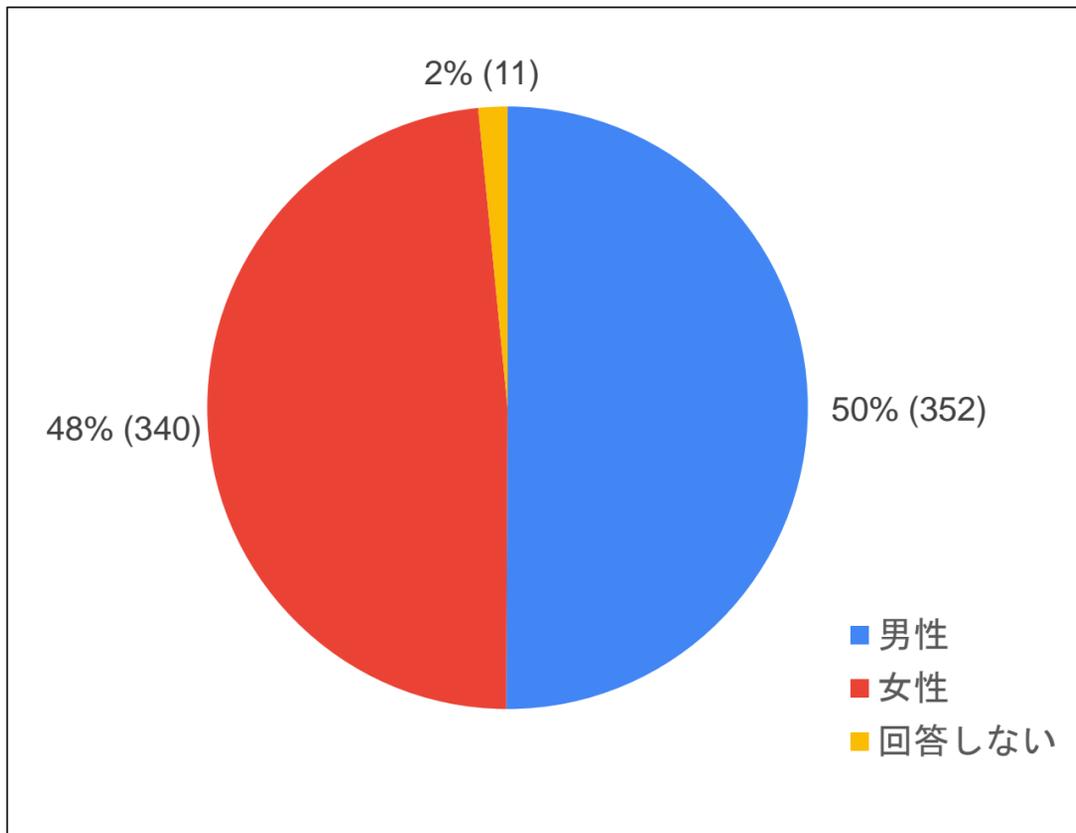
【人口ベース】

対象数	回収数	回収率
4,553人	704件	15.5%

【世帯ベース】

対象数	回収数	回収率
2,235世帯	704件	31.5%

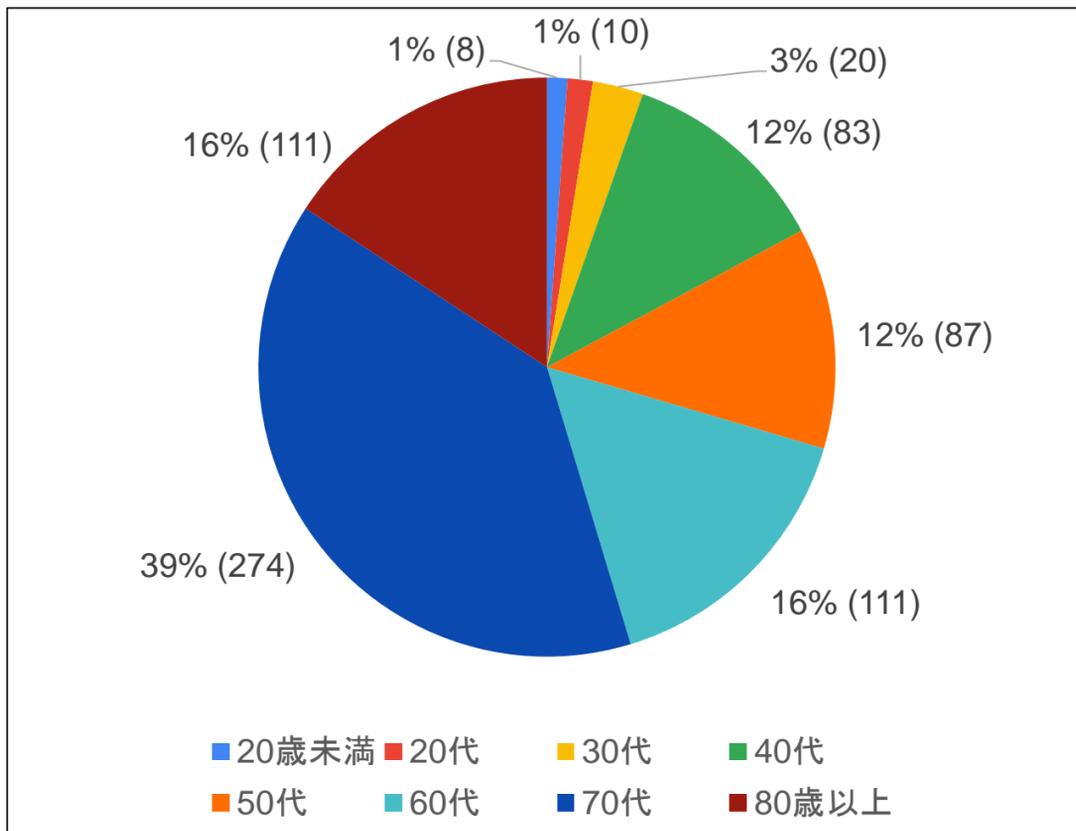
Q1 あなたの性別を教えてください



コメント

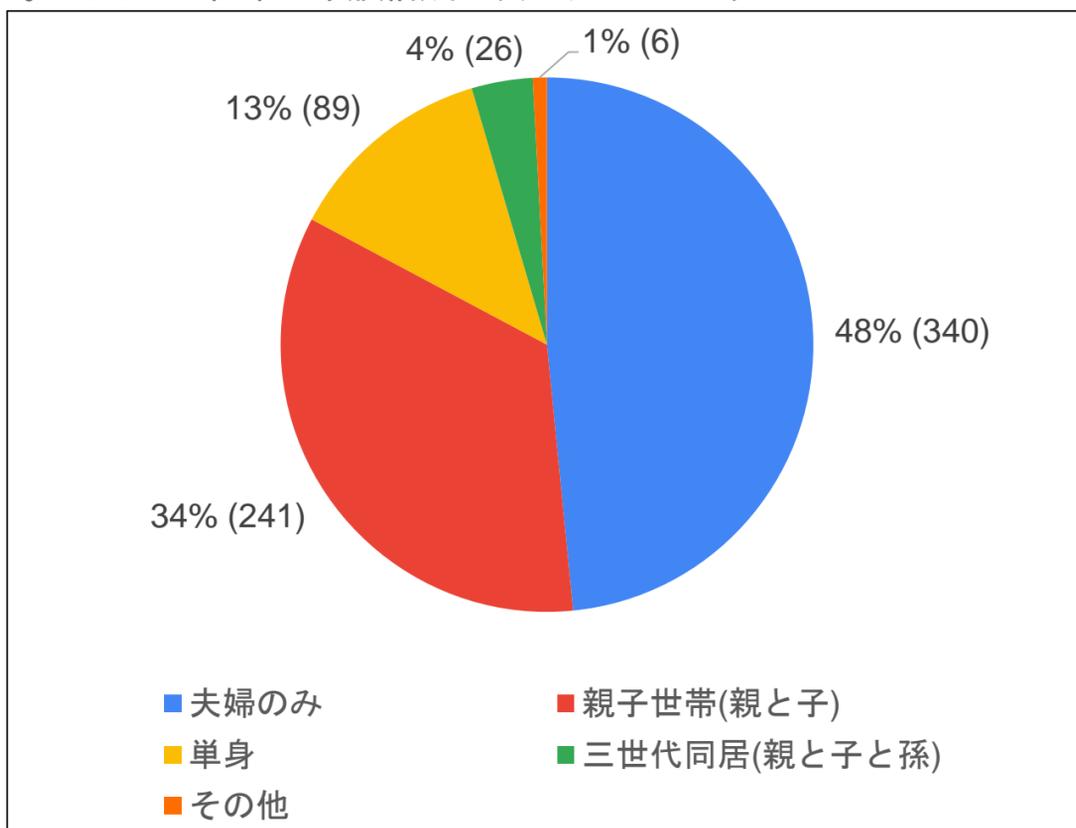
男女比は概ね半々で、性別の偏りは見られませんでした。

Q2 あなたの年齢を教えてください



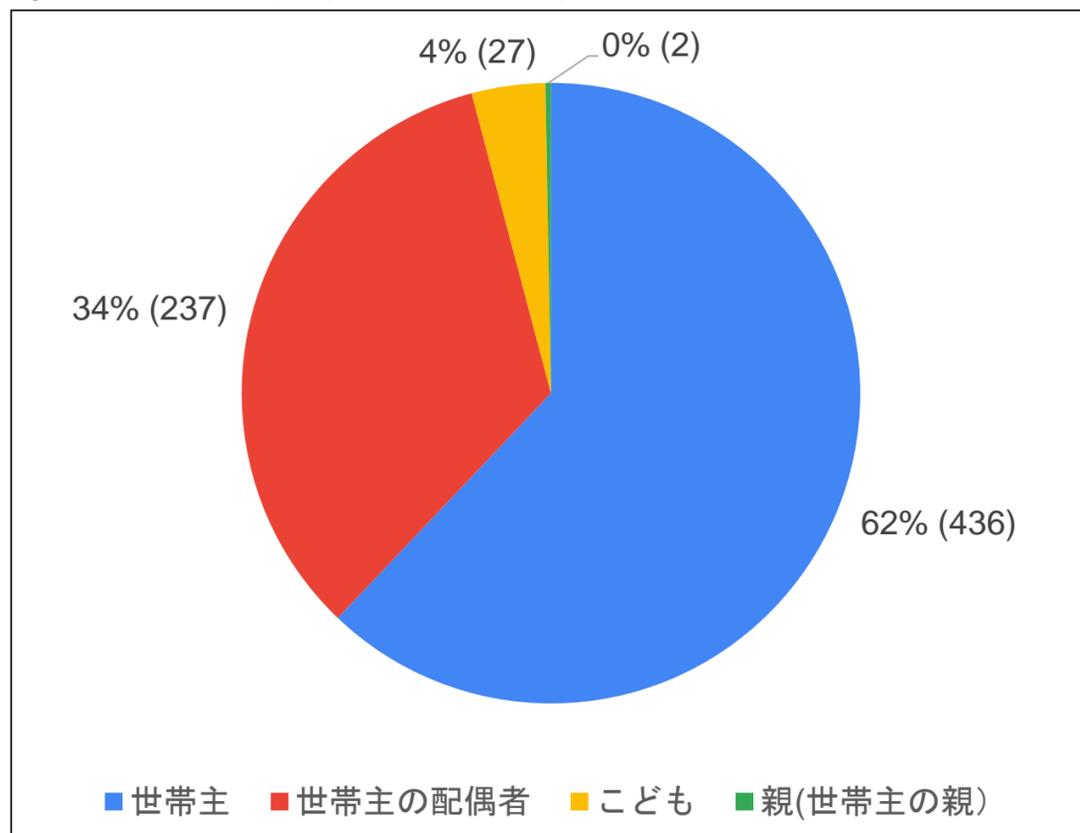
回答者の年齢層は60～70代で約半数を占めています。また、40代や50代の現役世代からも一定程度の回答が見られ、幅広い年代からの声が反映されています。

Q3 あなたの世帯の家族構成は次のうちどれですか？



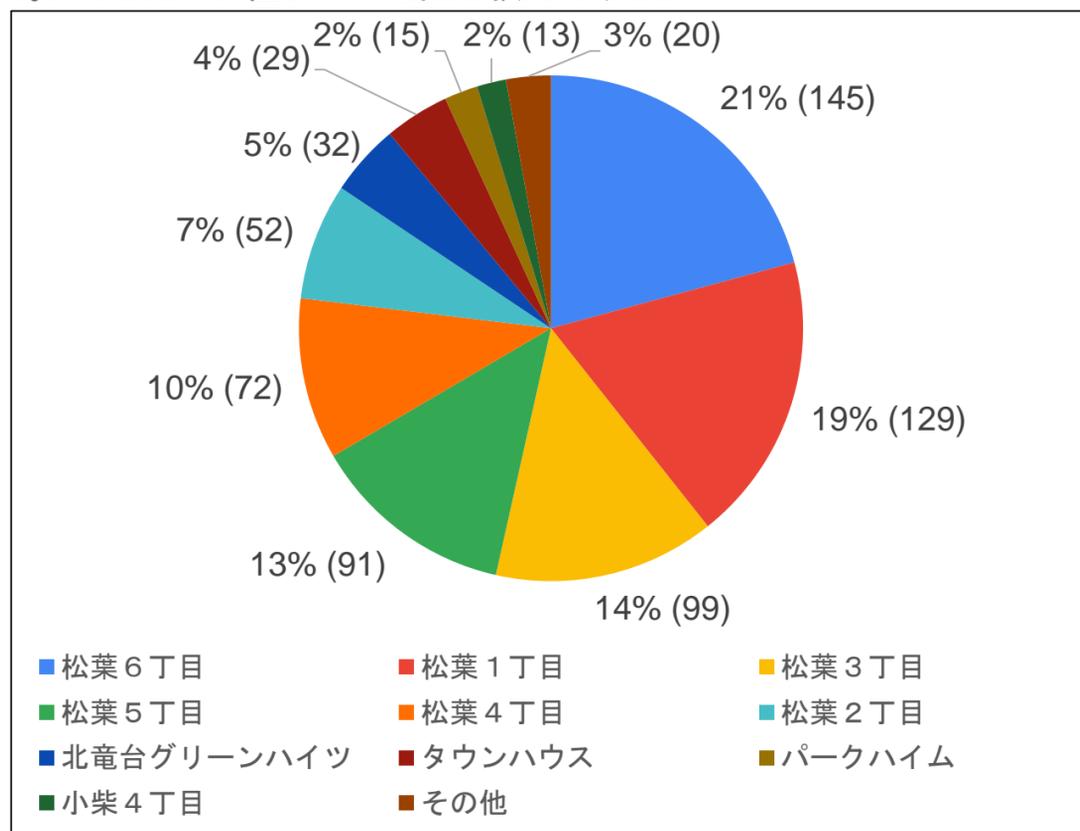
家族構成では『夫婦のみ』が半数、次いで『親子世帯』、『単身』となりました。

Q4 あなたの立場は次のうちどれですか？



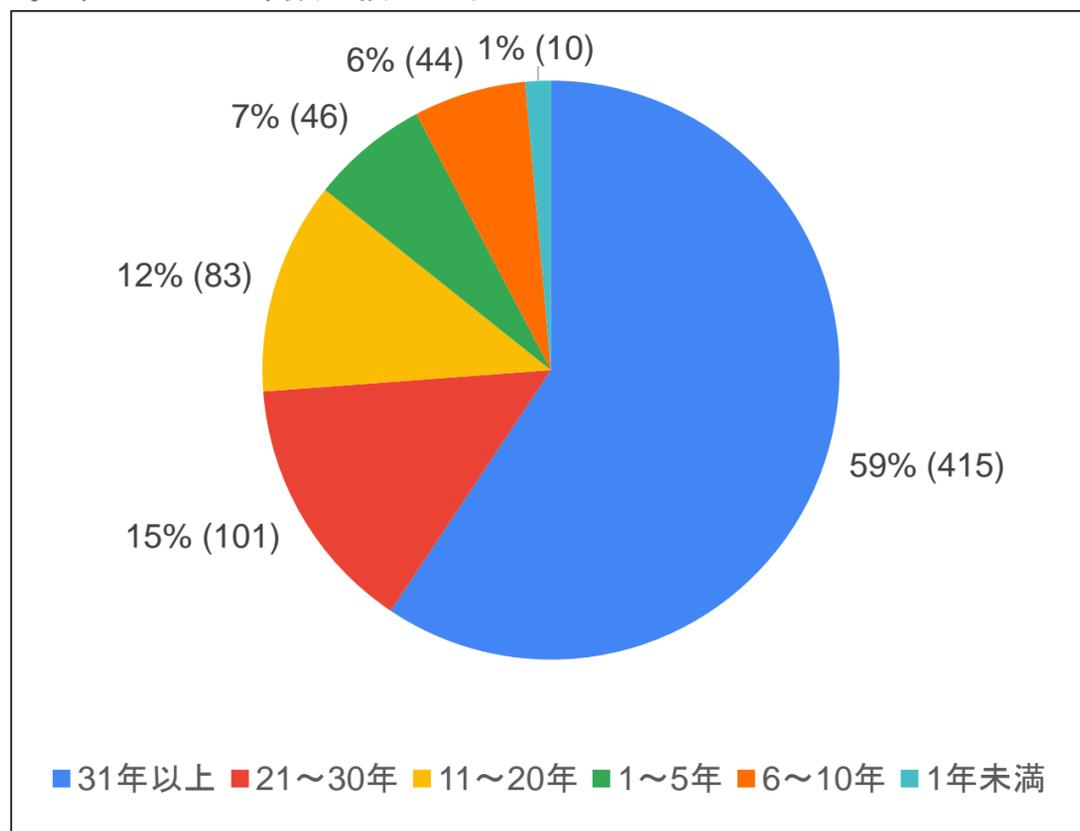
立場としては世帯主の回答が大半を占め、家庭を代表して意見を寄せた方が多い印象です。

Q5 あなたのお住まいの地区を教えてください



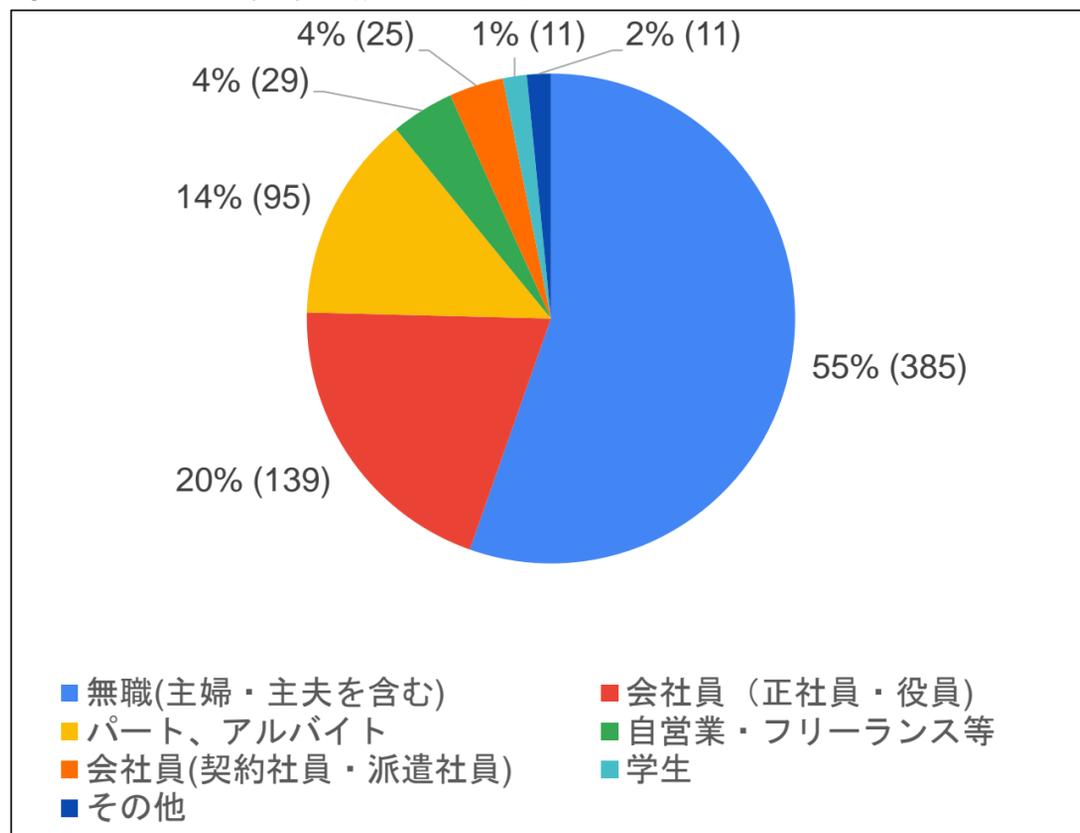
回答者は各エリアに広く分布しており、特に松葉1～6丁目居住者の回答が多い傾向にあります。

Q6 住んでいる年数を教えてください



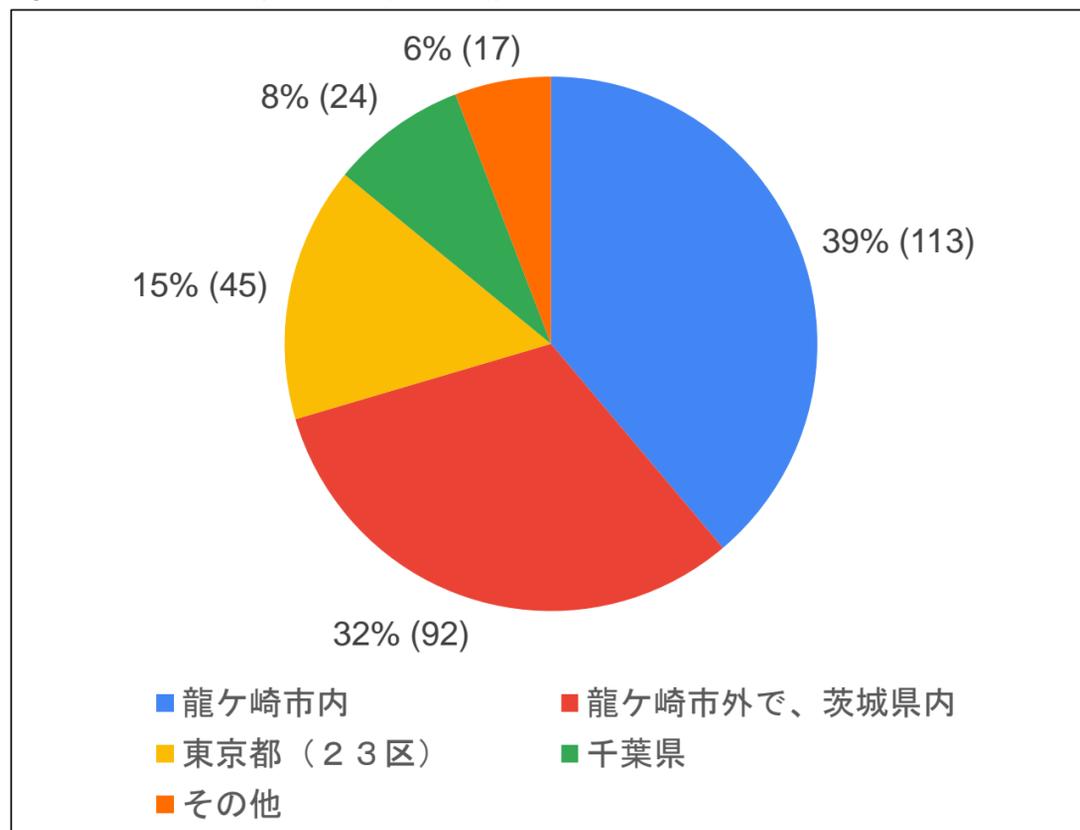
居住年数は『31年以上(平成6年以前)』の回答が多く、長年地域にお住まいの方が多く傾向にあります。

Q7 あなたのご職業を教えてください



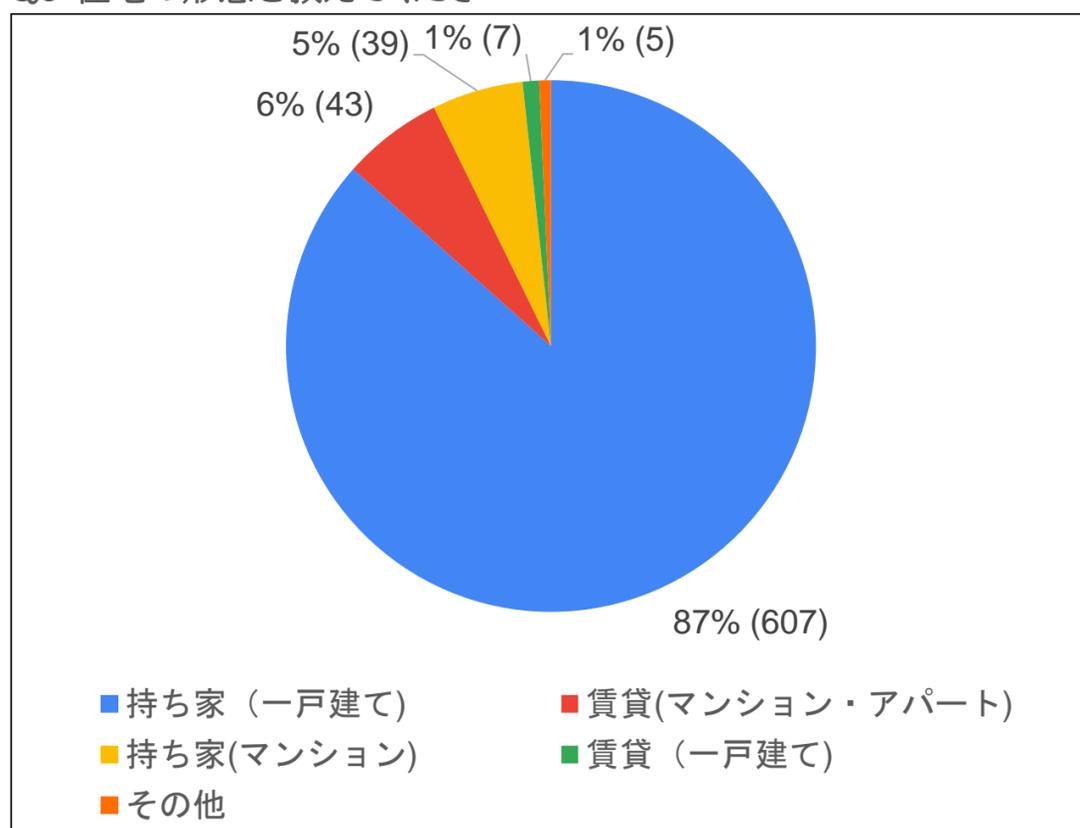
職業では無職(退職者や主婦・主夫を含む)が最も多く、次いで会社員(正社員・役員)、パート・アルバイトの順でした。

Q8 あなたの勤務先・通学先を教えてください



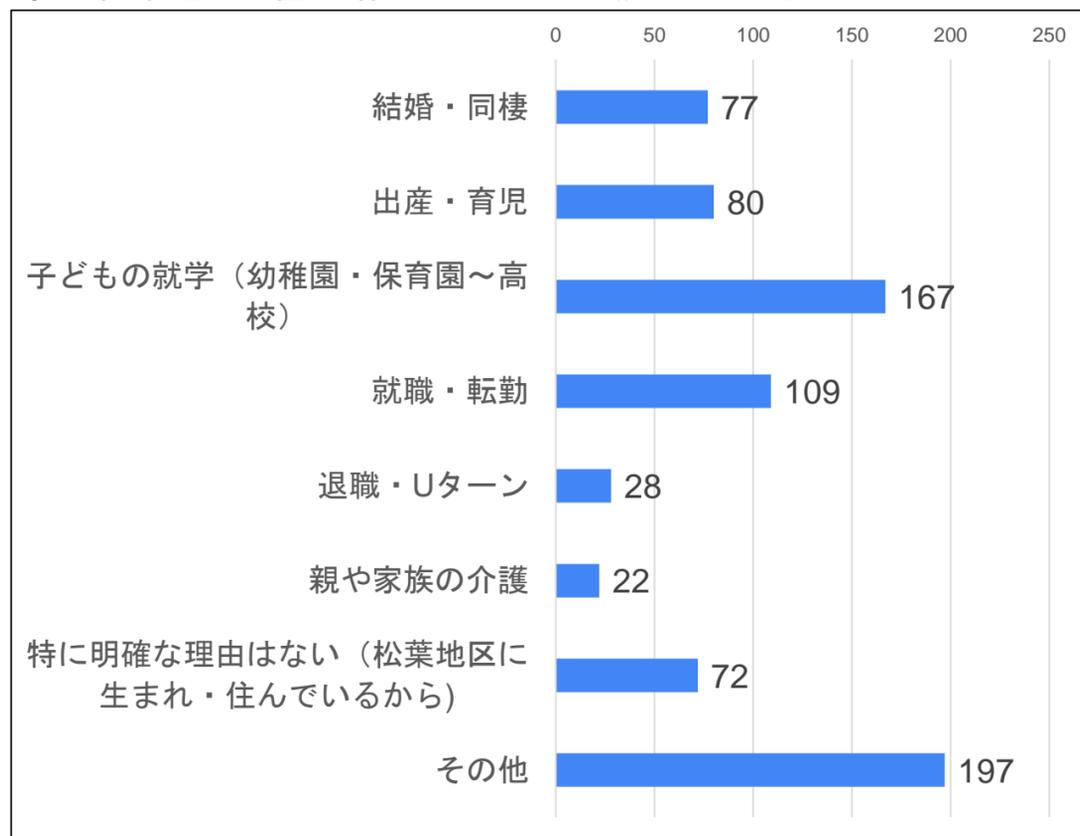
勤務先・通学先は龍ヶ崎市内と市外(茨城県内)が多い結果となりました。東京都や千葉県への通勤も一定数いらっしゃいます。

Q9 住宅の形態を教えてください



住宅形態は『持ち家(一戸建て・マンション)』が大半を占めており、松葉地区に定住している方が多いことが伺えます。

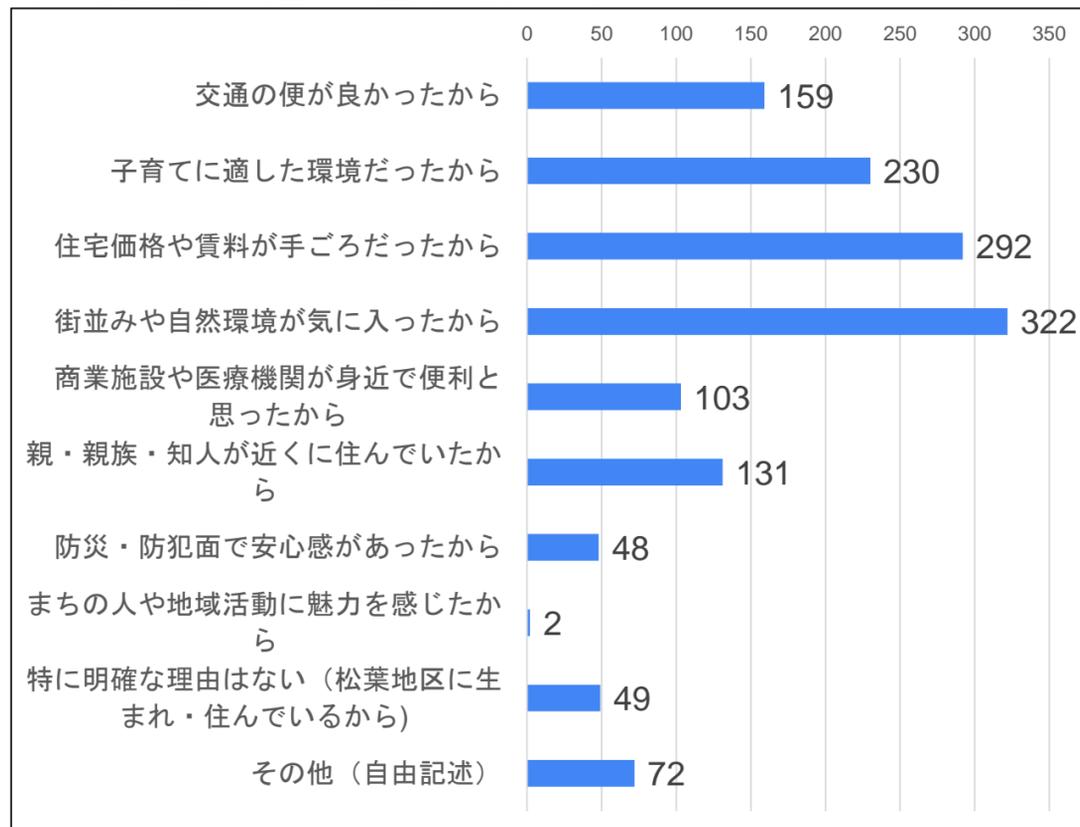
Q10 松葉地区に住み始めたきっかけを教えてください



コメント

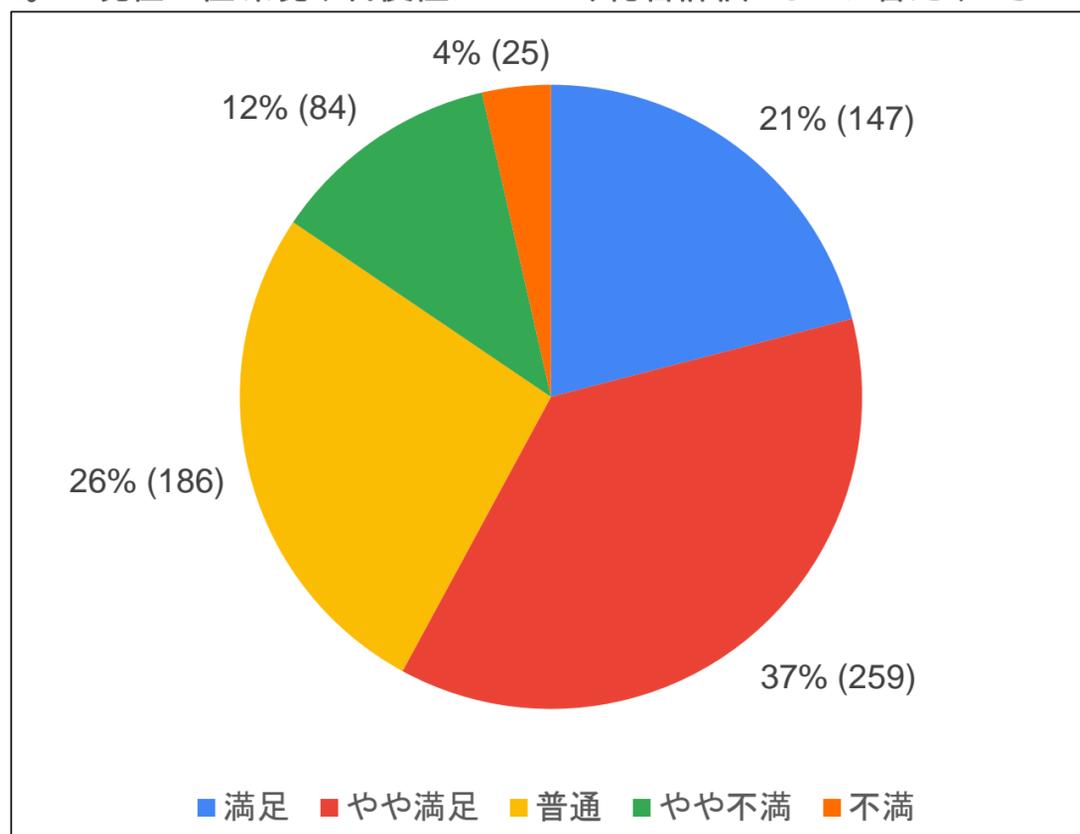
『こどもの就学』に合わせて松葉地区に住み始めた方が多く、『結婚・出産・育児』等のライフステージの変化、次いで『転職・転勤』となりました。その他としては、『公団の分譲に当選』、『持家を購入』と回答する方が多い傾向にあります。

Q11 松葉地区を選んだ理由を教えてください



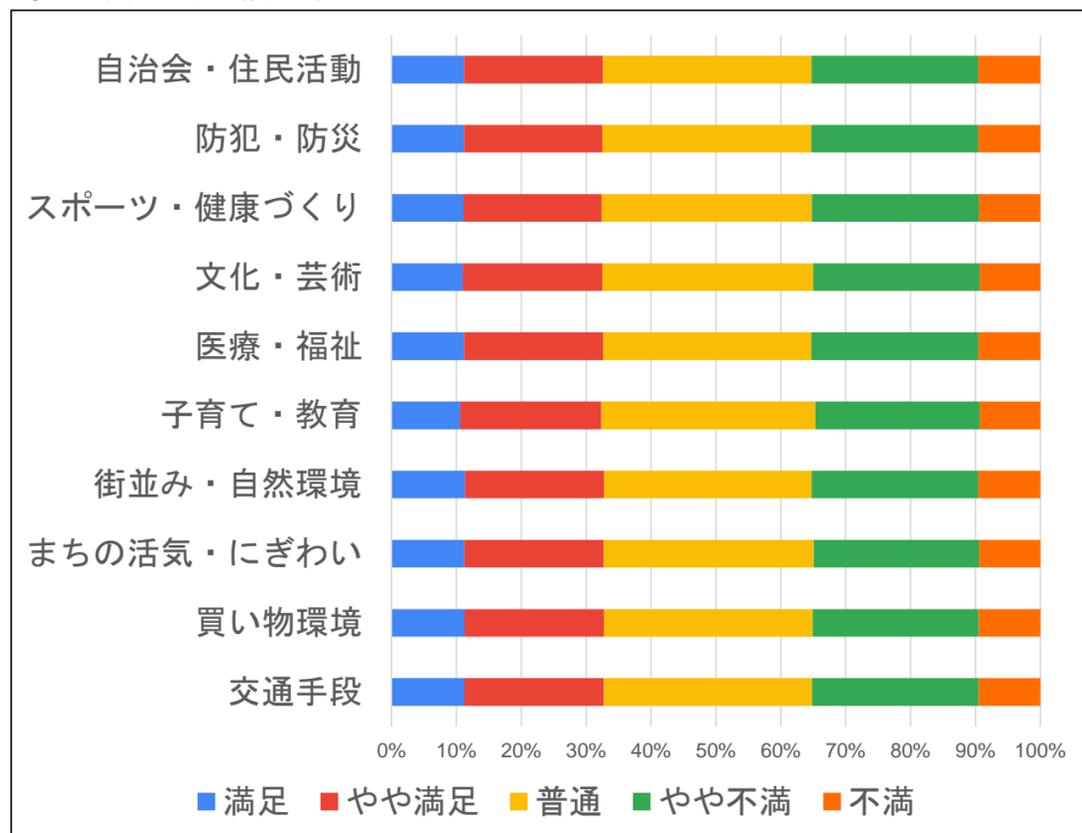
松葉地区を選んだ理由では『街並みや自然環境』、『住宅価格や賃料が手頃』、『子育て環境』が多く挙がりました。

Q12 現在の住環境や利便性について、総合評価としてお答えください



住環境への総合評価は『満足』または『やや満足』が多く挙がり、半数を占めました。

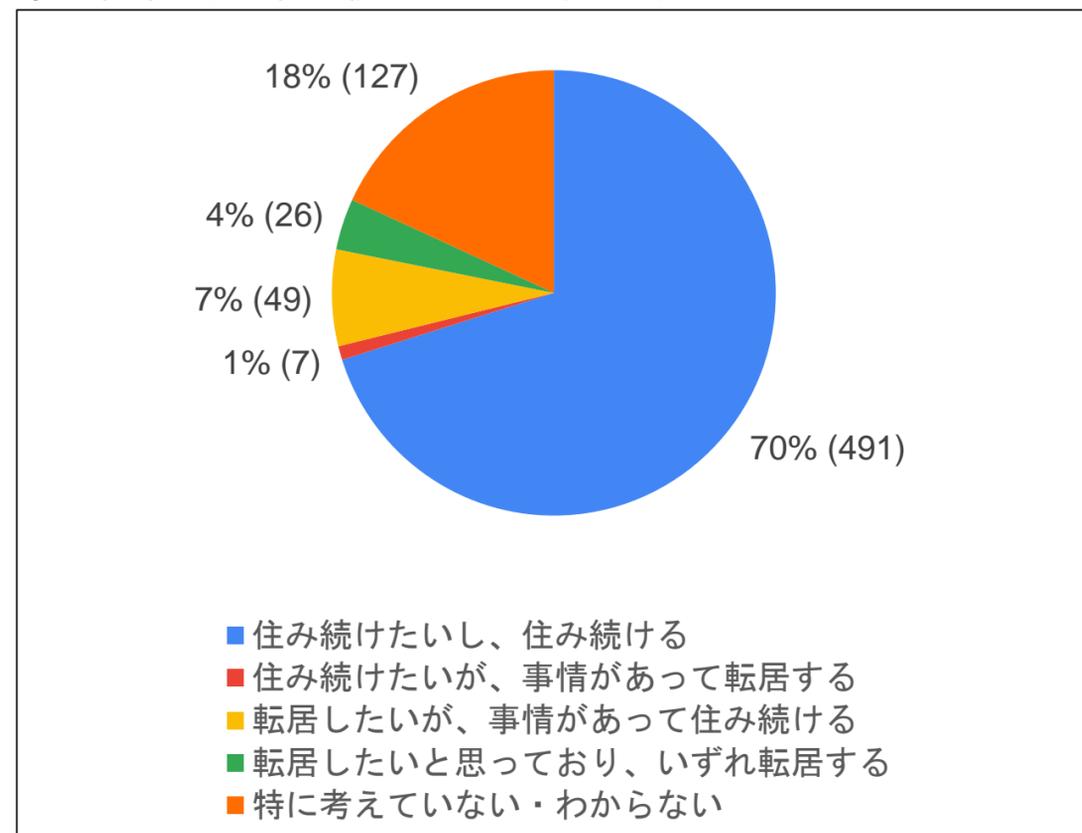
Q13 項目別の満足度



項目別の満足度はほぼ横並びで、顕著な特長は表れませんでした。

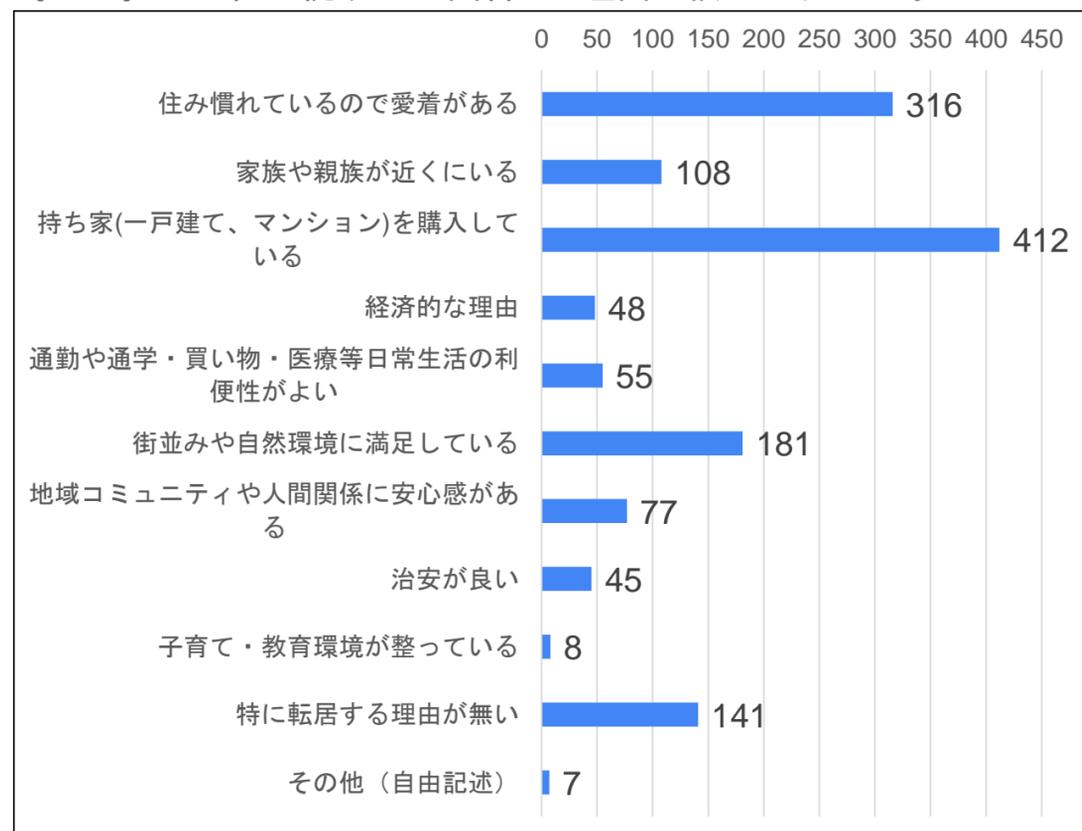
コメント

Q14 松葉地区に住み続けたいとお考えですか？



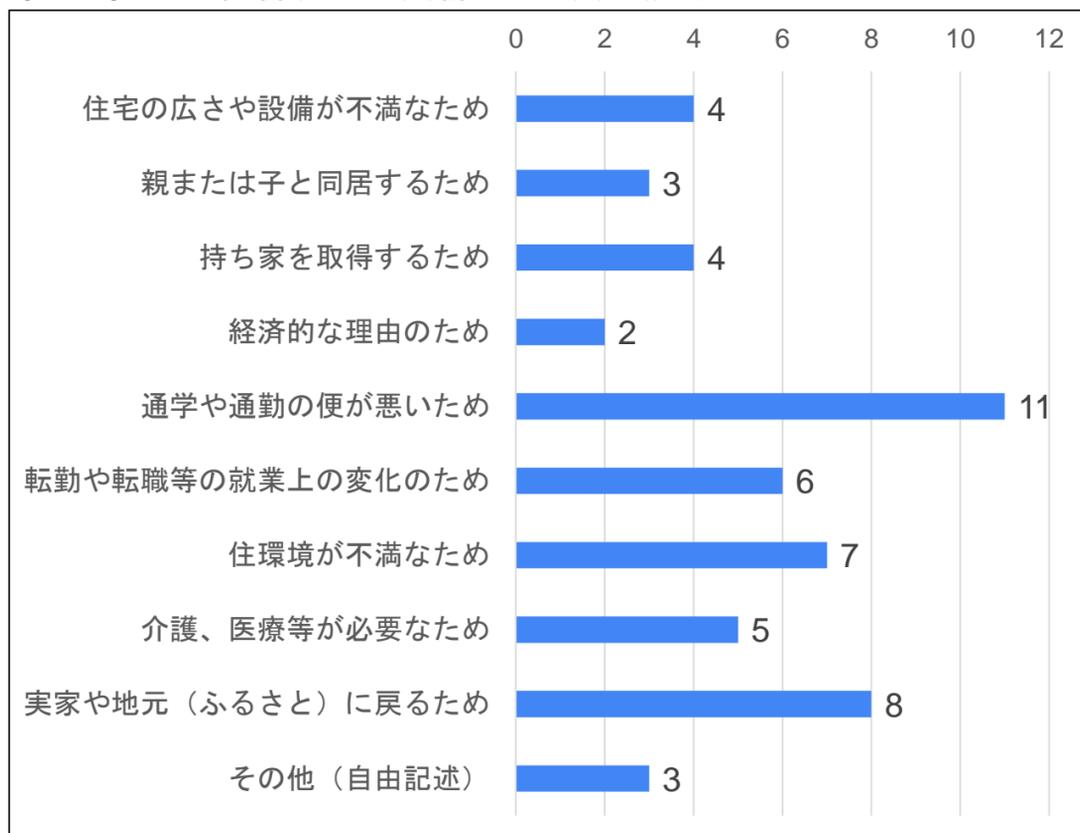
今後も松葉地区に住み続けたいと考える人が多数であり、地域への愛着が強いことがわかります。転居を予定している人は少数にとどまりました。

Q15 Q14で“住み続ける”と回答した理由を教えてください。



住み続ける理由としては『持ち家を購入している』『住み慣れている』『街並みや自然環境に満足している』が多く挙げられています。

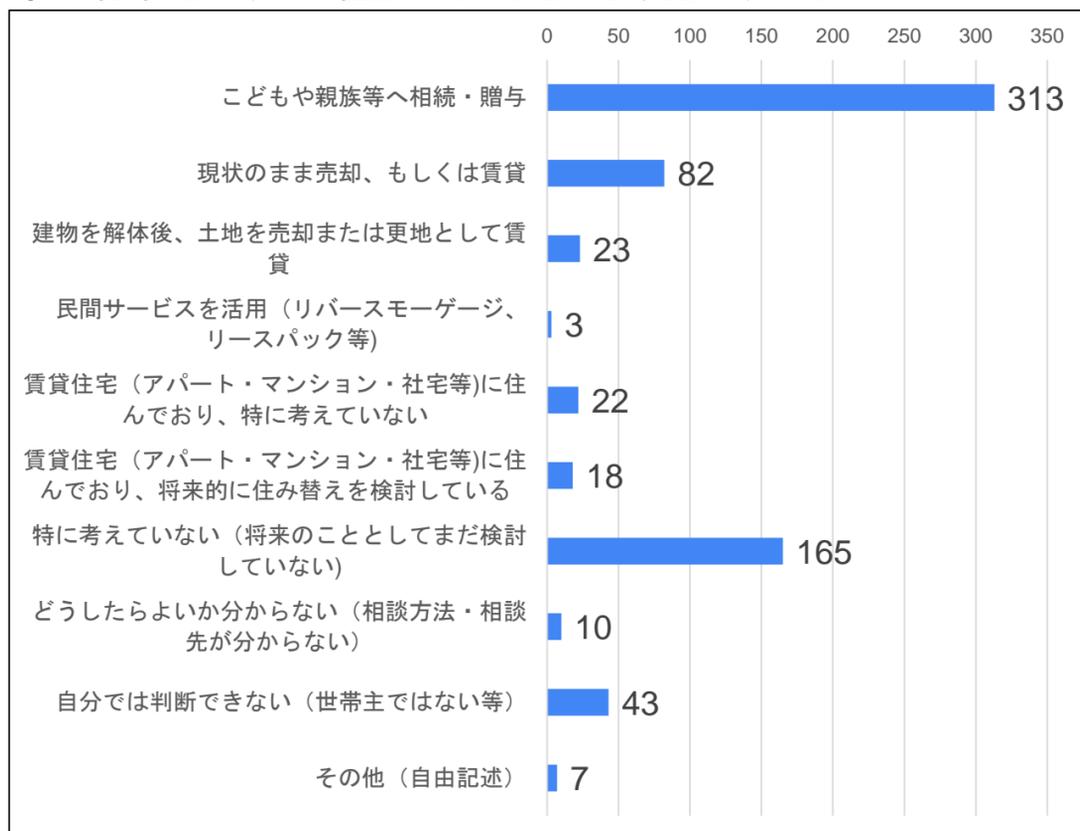
Q16 Q14で”転居する”と回答した理由を教えてください



コメント

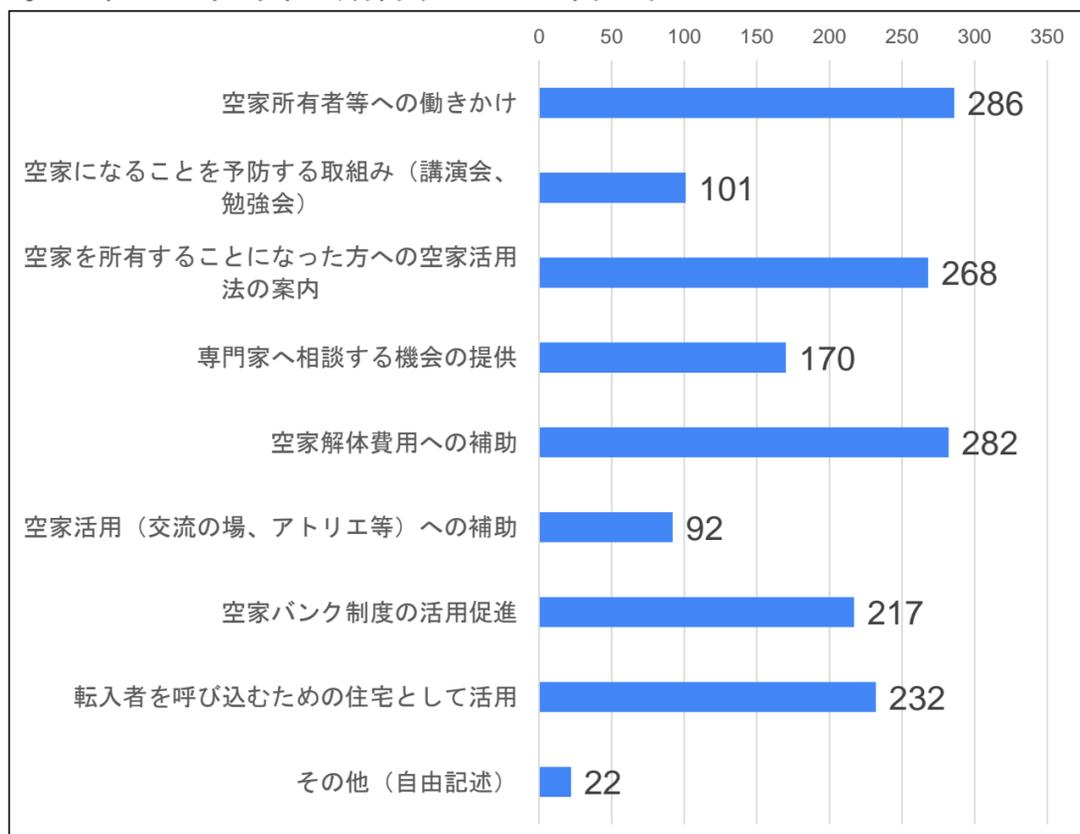
転居を考える理由では『通勤・通学の便が悪い』『実家や地元に戻るため』が挙げられています。転居を考える方が少数のため、回答数も少ないです。

Q17 将来的に今のお住まいはどうされる予定ですか？



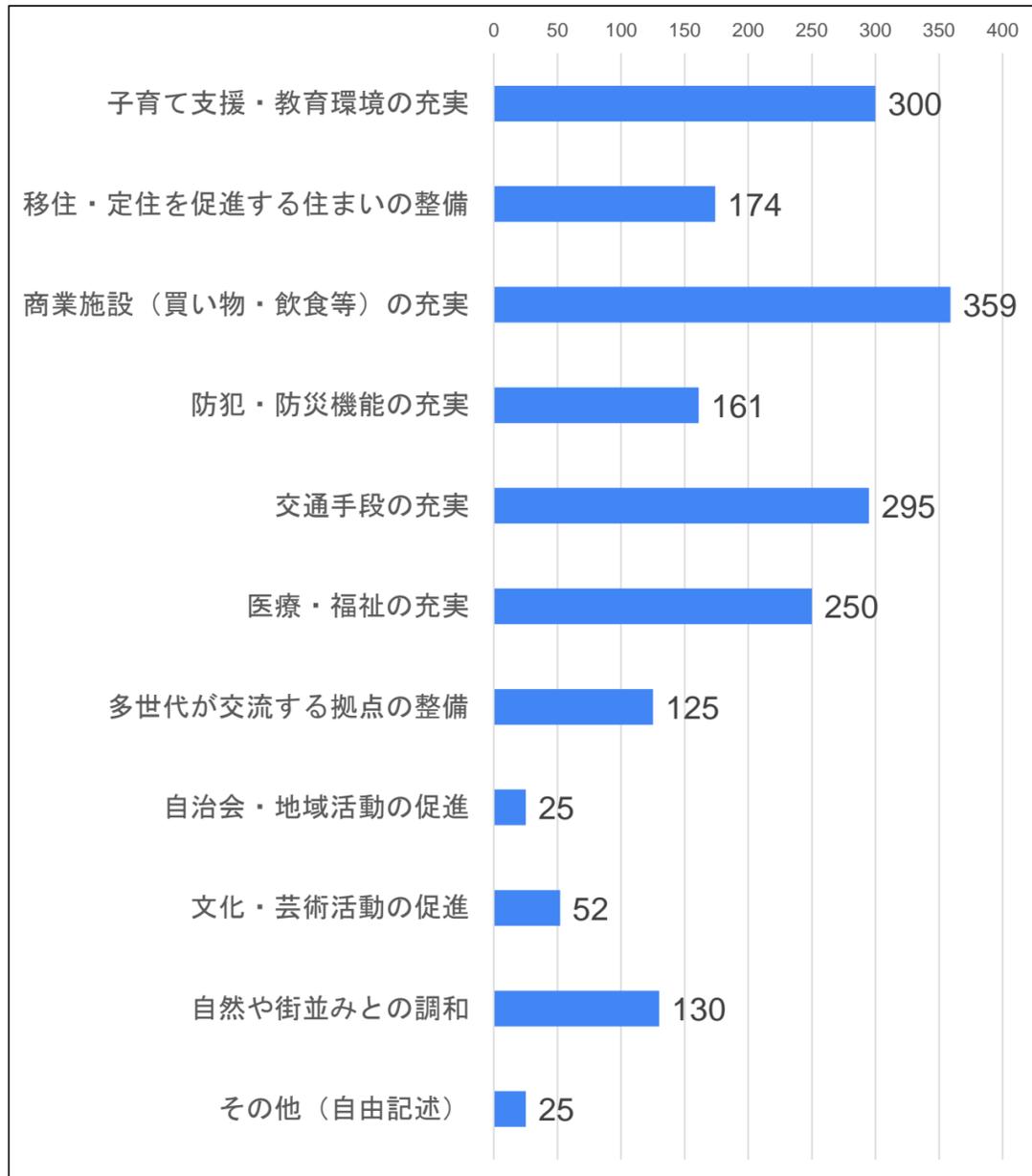
住まいの将来については『子どもや親族等への相続・贈与』が最も多く、次いで『特に考えていない』『現状のまま売却、もしくは賃貸』となりました。この3項目が突出して高い回答結果となりました。

Q18 市の空家対策に期待することは何ですか？



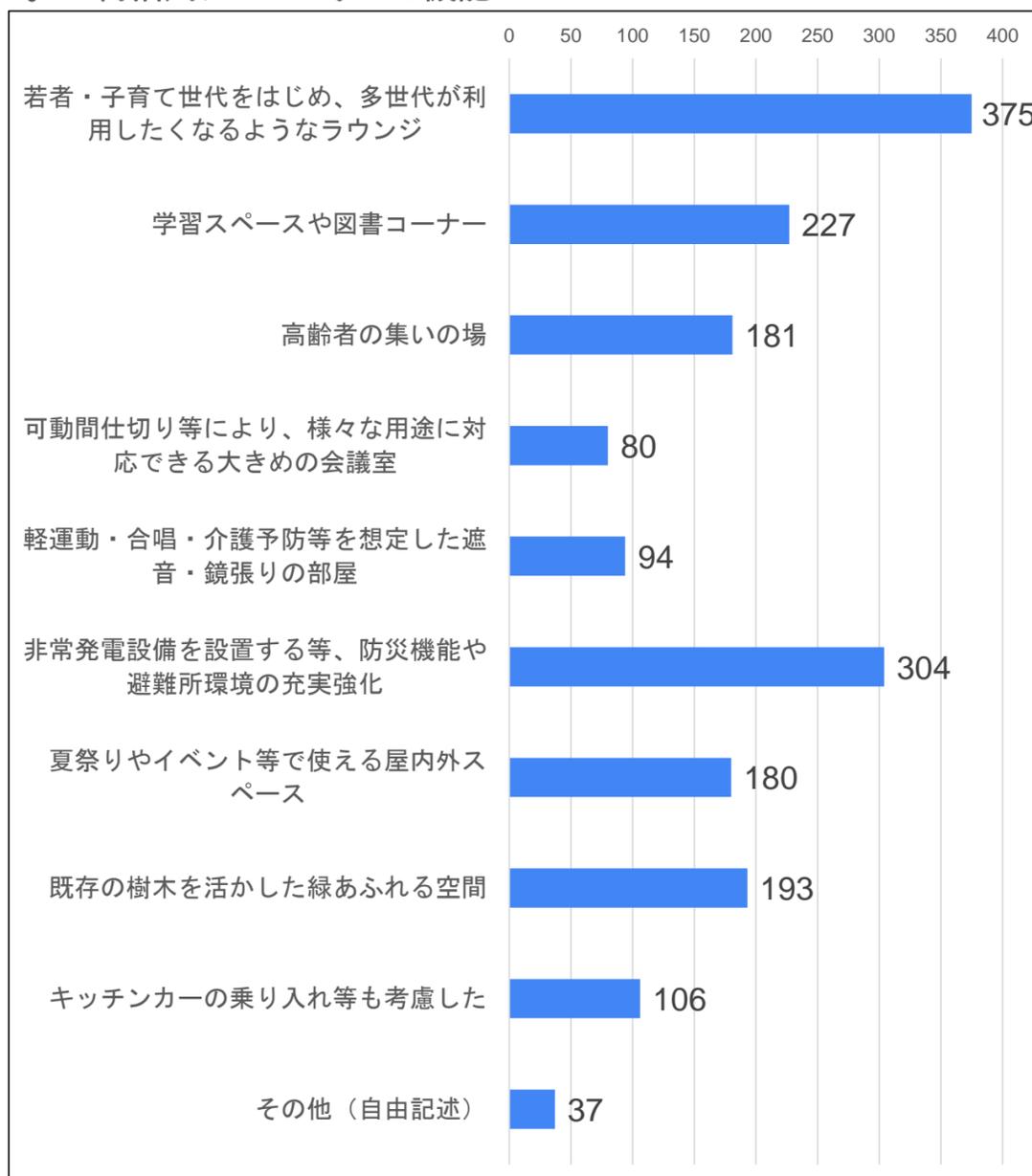
市の空家対策では『空家の活用法の案内』や『空家解体補助』『空家バンク活用』など実務的支援を求める声が多く挙がりました。

Q19 松葉地区が「これからも住み続けたい」「若者・子育て世帯が住みたくなる」と思えるまちにするために、跡地活用に求めることは何ですか？



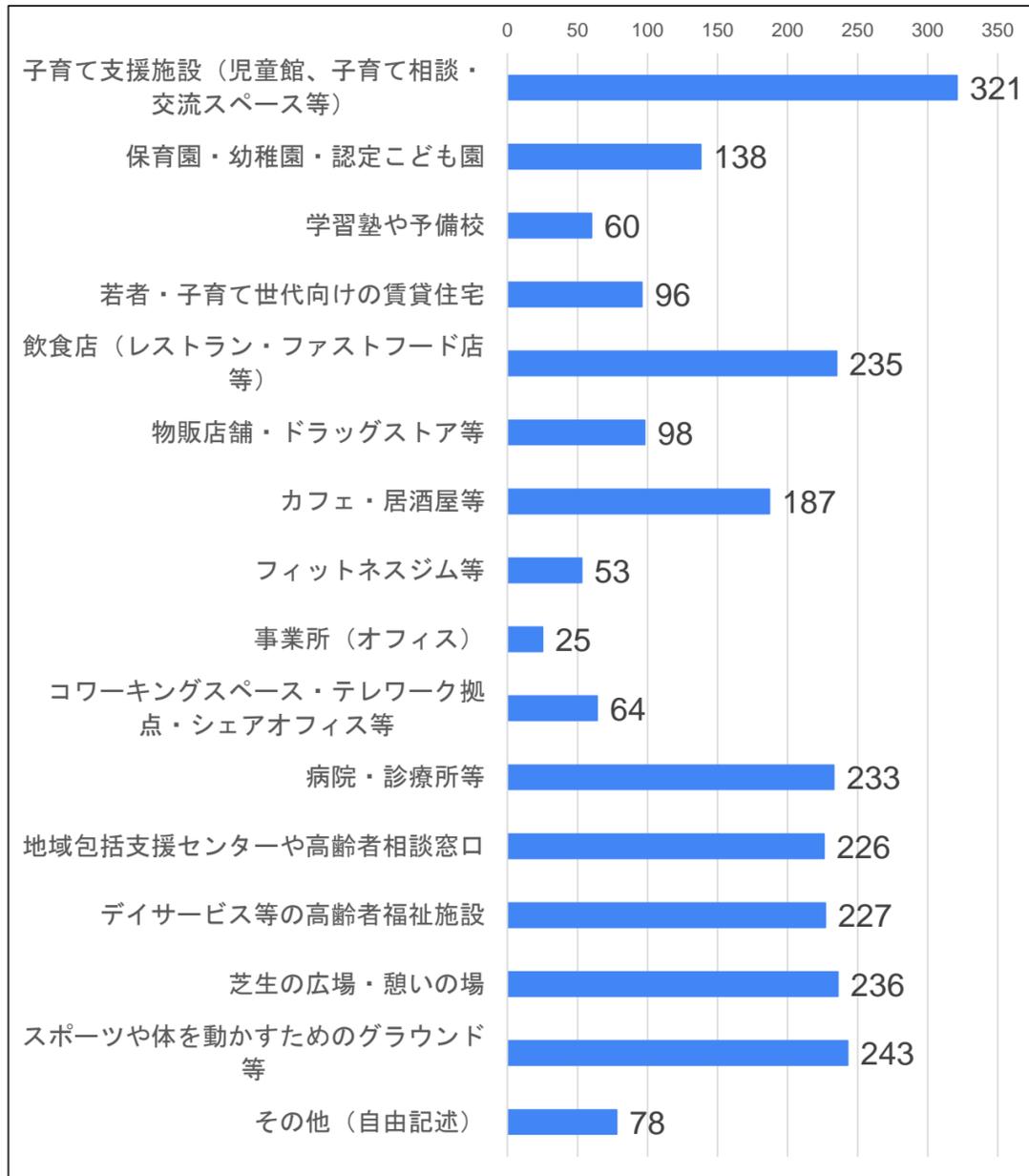
跡地活用において多く寄せられたのは『商業施設（買い物・飲食等）の整備』『子育て支援・教育環境の充実』『交通手段の充実』『医療・福祉の充実』でした。これらはいずれも日常生活の利便性と安心感を高める要素であり、特に高齢層からは『近隣で受診・買い物が完結できる環境を望む』声が多く聞かれました。一方で、子育て世代からは『子どもを安心して遊ばせられる場所』『放課後や休日に利用できる施設』への期待が強く、世代を問わず『多世代がつながり、にぎわいを感じられる場』を望む意見が目立ちました。全体として、松葉地区が『安心して暮らし続けられるまち』であると同時に、『次世代にも選ばれるまち』への転換を求める声が多い結果となりました。

Q20 再活用ゾーンに求める機能



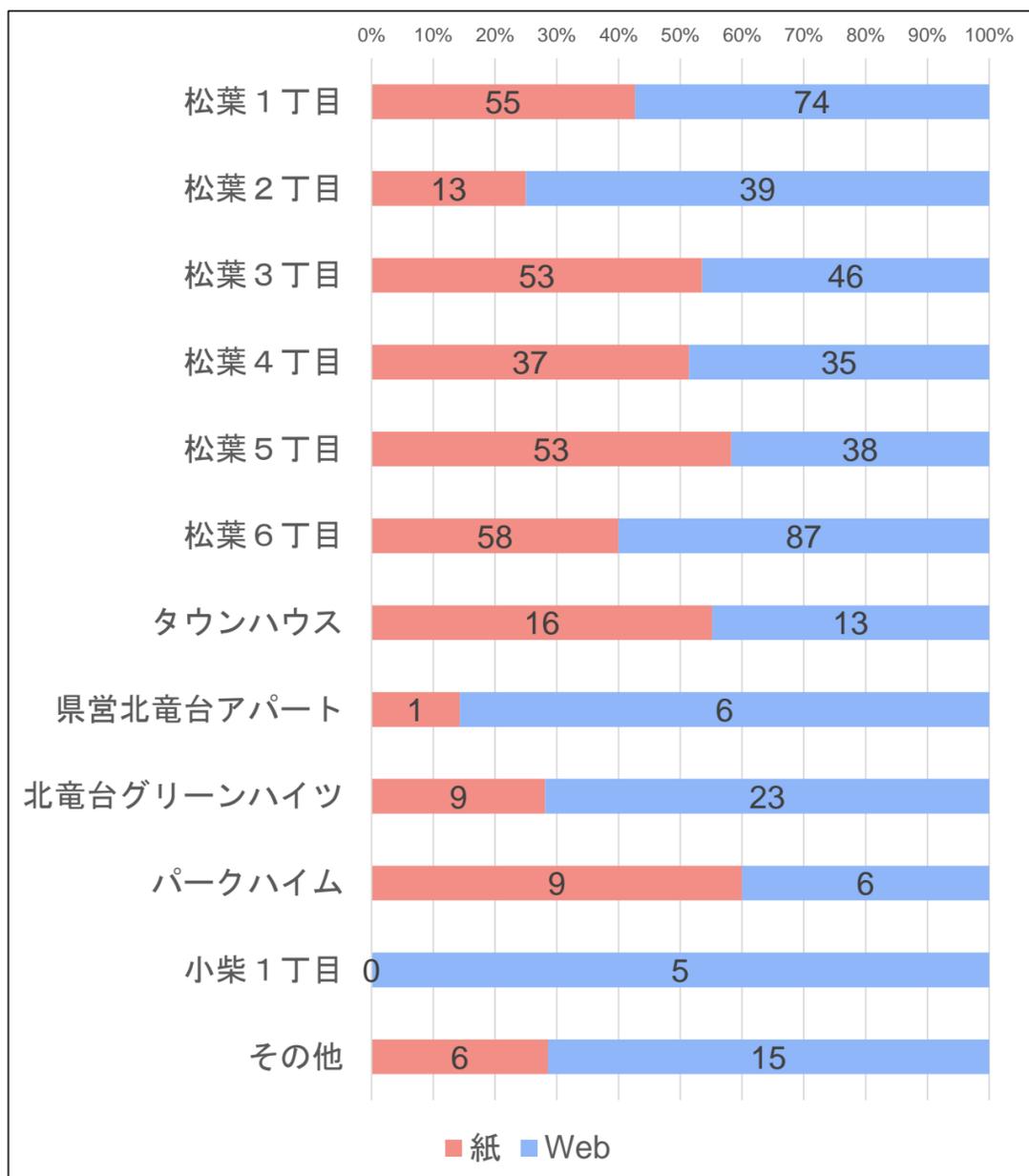
コミュニティセンター・公園の再整備に関しては、『多世代が気軽に利用できるラウンジ』『防災機能を備えた避難所』『学習スペースや図書コーナー』といった意見が多く寄せられました。特に、子どもから高齢者まで全ての人が同じ場所で過ごせる空間を求める声が高く、多世代共生を求める意向が伺えます。また、『高齢者の集いの場』『夏祭りやイベント等で使える屋内外スペース』など、高齢者の居場所やにぎわいへの関心も高く見られました。一方、『緑を活かした空間』『自然や街並みとの調和』など、落ち着いた住宅地のまま残してほしいとの意見も一定数あります。

Q21 新規活用ゾーンに求める機能



松葉小学校跡地の新規活用に対しては、『子育て支援施設（児童館・相談・交流スペース）』を求める声が多い結果となりました。また、『芝生の広場』や『スポーツ施設』を挙げる回答も多く、健康増進や交流の場としての期待も大きいことがわかります。一方で、『飲食店』『カフェ・居酒屋』といったにぎわい創出型の回答も多く、単なる施設整備にとどまらず、まちの魅力を高める活用への期待が伺えます。全体として、生活利便・世代間交流・健康づくりを軸とした複合的な活用を望む傾向が現れています。

【参考】地区別回答方法割合（紙・Web）



Q22 自由記述(内容抜粋①)

自由記述欄の回答は全部で242件でした。その中から主な内容を抜粋し10項目にまとめました。

①子育て世代の意見を積極的に反映してほしい

子育てや共働き世帯の実情を理解したうえで、学校帰りに通うことができる学習・音楽・スポーツ教室等の集積や、子どもが安全に過ごせる常設の居場所づくりなど、子育て世代が住みたくなるような環境づくりを求める意見が多い。

②小児科・かかりつけ医など医療環境の改善

近隣に小児科が少ない。牛久市まで通院しているという声が複数。地域に信頼できる医師や医療機関が必要との指摘が強い。

③元気サロン松葉館を存続・活用してほしい

元気サロン松葉館は、高齢者や地域住民の交流拠点として定着しているため、閉鎖せずに存続・機能強化を希望する意見が多い。

④多世代が交流できる公共空間の整備

子どもと高齢者が共に過ごせるカフェ、図書室、憩いスペースなど、だれでも気軽に訪れることができる交流拠点の必要性が挙げられている。

⑤既存の地域活動(夏祭り・スポーツ等)の継続

小学校閉校後も夏祭りやクラブ活動を継続し、地域のつながりや子どもたちの思い出が途切れないようにしてほしいという要望がある。

Q22 自由記述(内容抜粋②)

⑥地域に気軽に立ち寄れる飲食店や交流拠点の不足

喫茶店や居酒屋など、歩いて行ける小規模店が少なく、高齢者の引きこもり防止にもつながる場がほしいとの意見がある。

⑦災害に強い地区特性を活かした施設整備

高台に位置し、地盤が堅固であるという地域特性を踏まえ、災害時に避難・集会ができる拠点を望む声がある。

⑧街並みや景観維持・治安・防犯対策の改善

施設整備だけでなく、既存緑地の保存、植栽等の維持管理改善、夜間の見回り、公園や通学路の安全確保などにより、地域のイメージ向上や地域の安心感を高めてほしいという意見が多く見られる。

⑨空き家対策と移住・定住促進策の必要性

空き家の増加が懸念され、若い世代向けの住宅提供や、移住促進の取り組みを積極的に進めてほしいとの要望がある。

⑩松葉小学校の歴史伝承

校舎・体育館をそのまま残してほしいという意見に加え、竪穴式住居や卒業記念等を保存してほしいとの意見もある。